

みんながつながる 地域学校協働活動便り NO.14

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ TEL017-734-9890

R6. 9月 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員 工藤知久子

令和6年度「地域学校協働活動研修」東青・上北・西北・三八地区開催

東青地区

日時：令和6年8月8日(木)
場所：青森県総合社会教育センター
参加者数：会場 42名
 オンライン 15名
講師：ふくしま学校と地域の未来研究所
 代表 安齋 宏之氏



上北地区

日時：令和6年8月9日(金)
場所：東北町コミュニティセンター未来館
参加者数：会場 51名
 オンライン 5名
講師：ふくしま学校と地域の未来研究所
 代表 安齋 宏之氏



東青地区と上北地区の講師は、CSマイスターの安齋宏之氏が務めました。

講義は、「新しい時代のコミュニティ・スクールの活用～CSと地域学校協働活動の一体的推進」をテーマに、めまぐるしく変化している社会では、学校の在り方の変革は必要だが、学校だけで変わることは困難であるため、保護者や地域住民と連携・協働して質の向上と成果をめざすコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取り組みについてお話いただきました。

さらに、模擬熟議では、テーマ「みんなで創ろう、社会に開かれた教育課程」について、対象学年と育みたい力をグループ毎に想定し、地域のいいところを話し合い、単元構想図を作りました。東青地区は「地域にある隠れた産業をメジャーな産業に発展させる」「若者へ発信するSNSの活用」等が発表されました。参加者からは、「校種や立場が違う方々と話ができて有意義だった。」「演習に対する苦手意識があったが方法や目的がはっきりしていたので楽しくできた。」などの感想がありました。

翌日の上北地区では、「特産物を考案し生産者と連携して創作料理の開発」「馬門公園など地域にはたくさんの公園があるので、村内公園マップを作る」などの発表がありました。参加者からは、「熟議は自分一人では思いつかない内容を作り上げることができることがわかった。」「学校の諸問題に地域も当事者となって考えてもらうために、CSは非常に有効だと感じた。」などの感想がありました。

西北地区

日時：令和6年8月19日(月)
場所：つがる市生涯学習交流センター「松の館」
参加者数：会場 43名
 オンライン 2名
講師：ゆめ☆まなびネット
 代表 大谷 裕美子氏



西北地区の講師は、CSマイスターの大谷裕美子氏が務めました。講義・演習テーマは「子どもたちの未来のために」で、学校運営協議会で協議し、多くの当事者による熟議が相互理解と信頼関係を深め、組織としてマネジメント力を強化していくことや、無料映画上映や夏祭り先生バンドLIVEなど、数多くの事例を紹介いただきました。模擬熟議では、「どんな子に育ててほしいか」「実現するには何をするのか」「実現するために学校と地域と一緒にできること」をグループで意見を出し合いました。参加者からは、「CSや地域学校協働活動をうまく取り入れることによって教員の働き方改革にもつながる。」などの感想がありました。

三八地区

日時：令和6年9月3日(火)
場所：南部町総合保健福祉センターゆとりあ
参加者数：会場 46名
 オンライン 13名
講師：(一社) S.PLACE
 代表理事 井上 尚子氏



三八地区は、CSマイスターの井上尚子氏が中南地区、下北地区に続き講師を務めました。講義テーマは「あなたが関わる学校にはどんな魅力がありますか」で、地域と学校の連携・協働の必要性やコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の役割、教育課程内外の地域学校協働活動の実践事例について紹介いただきました。模擬熟議では「あなたの学校の魅力って？」「地域学校協働活動を通し、より魅力ある学校づくりを」をテーマに、グループに分かれて話し合い発表しました。参加者からは、「校種、立場の違う参加者の話が聞けて良かった。」「地域との関わり方をたくさん知ることができた。」などの感想がありました。

今年度の地域学校協働活動研修にご参加くださりまして、ありがとうございました。この研修会は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について理解促進を図るための研修です。

次年度も、国の動向や最新情報、実践につながる内容を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。